

「社会を明るくする運動」

保護司の皆さんが

啓発活動

7月1日、「第64回社会を明るくする運動」に伴う啓発活動が、白河地区保護司会に所属する町の保護司の皆さんにより、JR矢吹駅で行われました。

この運動は、犯罪・非行の防止と、罪を犯した人の更生について理解を深め、犯罪や非行のない安全で安心な地域社会を築こうとする全国的な運動です。

参加した皆さんは、早朝からタスキを身につけ、駅利用者にチラシなどを配り、明るい社会づくりの推進を呼びかけました。



法務大臣・知事

メッセージを伝達

7月1日、白河地区保護司会の金澤映仁会長と保護司の皆さんが役場を訪れ、「第64回社会を明るくする運動」に伴う谷垣禎一法務大臣と佐藤雄平県知事からのメッセージ伝達式が行われました。

伝達式では、金澤会長がメッセージを読み上げ、「安全で安心な地域社会づくりのため、今後とも協力をお願いします。」と述べ、渡邊副町長にメッセージを手渡しました。



「交通安全は家庭から」

第一区自治会 「交通安全教室」開催

第一区自治会（石原浩市会長）は7月13日、「交通安全は家庭から」をスローガンに、交通安全教室を矢吹小学校体育館で開催しました。

参加者は地域の皆さん約30人。白河警察署員の指導を受け、自転車シミュレーションで運転を体験しながら、安全な走行方法や交通事故を防ぐための注意点などを学びました。

また、併せて防犯対策についての説明も行われ、参加者たちは交通安全・防犯に関する意識を高めました。



「無事帰るベルトに託す その思い」

交通安全啓発活動

7月16日から25日までの10日間、「夏の交通事故防止県民総ぐるみ運動」が県内一斉に実施されました。

この運動に伴い、町では15日に県道棚倉・矢吹線の矢吹中学校南側交差点で、交通安全啓発活動が行われました。交通団体・防犯団体が一致団結して事業に取り組み、「新・矢吹方式」により、約40人が参加し、「ドライバー」の皆さんにチラシなどを配り、交通安全を呼びかけました。

今後も引き続き交通安全に取り組みられるよう、皆さんのご協力をお願いします。



あなっぷ

「にこにこひろば」は、町内在住の就学前の乳幼児と保護者が、無料で利用できる場所です。同年代の子ども達と遊んだり、子育ての悩みを相談したりすることができます。

にこにこひろば
子育て講座

場所 町社会福祉協議会（保健福祉センター内）
利用日時 月～金曜日（祝日・年末年始を除く）午前9時～正午、午後1時～4時30分
☎ 子育て支援センター「にこにこひろば」 ☎0248（44）5210

6月25日 水 たなぼた飾り作り



7月15日 火 夏祭り



6月19日 木 東北大会・全国大会出場激励会

第46回東北高等学校女子剣道選手権大会出場
第61回全国高等学校剣道大会出場
・小坂沙貴さん（白河高校1年）
第45回女子東北高等学校ソフトボール選手権大会出場
・根本梨沙さん（学法石川高校3年）



7月3日 木 光南高校東北大会出場報告・激励会

第46回全日本ジュニア柔道体重別選手権大会東北予選会
第17回全日本女子ジュニア柔道体重別選手権大会東北予選会
出場
・円谷奈々さん（3年）・鈴木玲子さん（1年）
第62回東北高等学校選手権水泳競技大会
第82回日本高等学校選手権水泳競技大会予選会出場
・武田夏美さん（3年）



7月5～6日 土 矢吹町・三鷹市シニアリーダーオートレーニングキャンプ



文芸

まつかさ川柳会

お祓いを受けた車に有るゆとり 斎藤志ろう

久々の雨です心休ませる 久保木 聖

満開に花寒という今朝の風 栗林 孝至

平成の糸がだんだん太くなる 藤田 忠山

子の未来青い地球でいてほしい 芳賀カツエ

難聴の耳にも届く春の音 富永 政巳

傷心の子を抱く胸は開けておく 今野フミ子

母が逝き庭に熟したままの梅 駒木 一枝

プライドを捨てて捨てて生きている 大川原和子

復興の兆しが見えてきた笑顔を 顧問 下重 秀石